

事務事業実績測定調査

事務事業名称														大阪府等受付経由事務(難病に関する事務を除く)									
測定年度		2020(R2)年度						部		健康福祉部				課		保健所保健予防課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4							
総合計画体系		基本目標				2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち																	
		施策目標				6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち																	
		実行計画名																					
1. 事務事業の概要																							
種類		市民サービス				特性				非選択的事業				区分				非選択的事務事業					
事業期間		2014(H26)年度								年度		～		年度まで									
根拠法令等		1 大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則・大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例2 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律3 石綿による健康被害の救済に関する法律4 森永ひ素ミルク中毒被害者救済事業																					
関係補助金名称												サンセット						～					
関係附属機関名称																							
事業対象		メインターゲット		国や大阪府などの医療費助成制度の申請を希望する市民																			
		サブターゲット																					
		ターゲットが抱える課題		医療費に要する経済的負担が大きい。																			
		ターゲットが抱える課題																					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		大阪府などへの医療費助成制度に関する申請が身近な保健所で可能となり、市民の利便性を確保している。																					
事業概要		1 肝炎医療費援助制度等の申請書類を受理し大阪府へ進達する。 2 被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等を受理し、大阪府へ進達する。大阪府から被爆者一般健康診断を委託されている市内医療機関との連絡調整を行う。 3 石綿による健康被害の救済制度各種申請を受理し、独立行政法人環境再生保全機構へ進達する。 4 ひかり協会(森永ひ素ミルク中毒被害者の会)・国等の協力依頼の窓口となり、枚方市における支援状況等の情報を集約し報告する。																					
2. ロジックモデル及び指標設定																							
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
								申請書類等を大阪府へ進達する。						肝炎医療費援助制度等の申請を受理する。									
指標設定		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
								申請書類等を大阪府へ進達した割合。						肝炎医療費援助制度等の申請受理件数。									
		指標説明		単位				単位		%		単位		件									
		指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5								
				目標 (見込み)					100	100	100	100	350	350	350	350							
				実績					100				186										
達成度						100%				53%													
分析						申請書類はすべて大阪府へ進達することができた。				新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う受給者証の自動延長による影響により、目標よりも申請件数が少なくなった。													
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
								申請書類等を大阪府へ進達する。						被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等を受理する。									
指標設定②		アウトカム (活動効果)						アウトプット (活動結果)						インプット (活動)									
								申請書類等を大阪府へ進達した割合。						被爆者健康手帳の交付申請や各種申請等の受理件数。									
		指標説明		単位				単位		%		単位		件									
		指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標											
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5								
				目標 (見込み)					100	100	100	100	260	260	260	260							
				実績					100				144										
達成度						100%				55%													
分析						申請書類はすべて大阪府へ進達することができた。				一部の更新手続きが不要となったことや、健診が中止となったため、目標より申請件数が少なかった。													

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						独立行政法人環境再生保全機構へ進達する。				石綿による健康被害の救済制度各種申請を受理する。					
指標設定③	指標説明						申請書類等を独立行政法人環境再生保全機構へ進達した割合。				石綿による健康被害の救済制度各種申請の受理件数。				
															単位
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	2	2	2	2
		実績						100				2			
	達成度						100%				100%				
	分析						申請書類はすべて環境再生保全機構へ提出することができた。				想定どおりであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.74
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	5,933	5,902		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,976	5,933	5,902		
	物件費計		53	27	21	41	51%
歳出計		4,029	5,960	5,923			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		228	27	116	157	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		5	3	0	0	
	歳入計		233	30	116	157	
一般財源			3,796	5,930	▲ 95	▲ 116	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響等により受給者証の有効期間が1年自動延長となるなど一部申請手続きが不要となったため、申請件数は想定より少なかったが、受け付けた申請書はすべて適正に進達することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も迅速かつ正確な進達事務や報告を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		難病対策事業																	
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部			課	保健所保健予防課							
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち														
		施策目標			6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち														
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業					
事業期間		2014 (H26) 年度						年度		～		年度まで							
根拠法令等		●難病の患者に対する医療等に関する法律 ●難病対策要綱●大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則 ●大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例●地域保健法																	
関係補助金名称												サンセット				～			
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		特定医療費 (指定難病) 受給者または、特定疾患医療受給者及び対象者 (以下難病患者と記載)															
		サブターゲット		難病患者の家族や療養上の支援に関わる関係機関															
		ターゲットが抱える課題		(状況:指定難病は、333疾患あり、個々の疾患に応じた療養上のニーズを把握し、家族や患者に病状に応じた支援が必要)															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる																	
事業概要		1 特定医療費 (指定難病) 支給認定申請受付事務 (大阪府への経由事務)は、難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき、指定難病治療研究の確立と患者・家族の医療費の経済的負担軽減を行う。 2 特定疾患医療費助成申請受付事務 (大阪府への経由事務)は、難病対策要綱および大阪府特定疾患に係る医療費の援助に関する規則に基づき、特定疾患患者・家族の医療費の経済的負担軽減を行う。 3 国が定める難病特別対策推進事業および地域保健法第6条に基づき、医療・介護・福祉の関係機関と連携し、難病患者が地域で安心して療養生活を送れる環境づくりを行う。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				大阪府へ進達する。				特定医療費 (指定難病) 支給認定申請等を受理する。									
指標設定		指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
				難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				大阪府への進達割合 【算出式:進達数／申請受理数×100】				特定医療費 (指定難病) 支給認定申請書等受理件数 【算出式:新規申請数＋更新申請数＋変更届数】							
				単位		%				単位		%				単位		件	
		指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
				目標 (見込み)		30未満		20未満		10未満		5未満		100		100		100	
				実績		1.48						100						1,135	
達成度		193%				100%				23%									
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				滞りなく申請書等を進達した。				令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、特例として更新申請を省くこととなったため、新規申請のみとなり、見込みを大幅に下回る実績となった。									

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				療養状況についてのアンケートや相談内容から保健師が支援基準に基づき在宅療養支援計画を作成する。				特定医療費(指定難病)支給認定申請者に対し、療養状況についてのアンケートや保健師による面接相談を実施する。																
指標設定②	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
			難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				在宅療養支援計画・評価数(新規・更新申請時アンケート、事例検討会、ケア会議等による支援方針の決定数)				療養状況把握数(新規申請・更新申請時のアンケート回収率)															
			単位		%				単位		件				単位		%									
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標(見込み)		30未満		20未満		10未満		5未満		3,750		3,750		3,750		3,750		100		100		100		100
			実績		1.48						676								100							
達成度		193%				17%				100%																
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため更新申請が中止となり、療養状況を把握するアンケートや面談が実施できなかったため、件数が少なくなっている。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため更新申請が中止となり、新規申請者数のみで計上している。																
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が療養上の不安解消や疾病の理解を深めることができる。				医療講演会や患者家族交流会等を実施する。																
指標設定③	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
			難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				医療講演会・患者家族交流会延べ参加者数(関係機関参加数、東ブロック開催時の市民参加数含む)				医療講演会・患者家族交流会の実施回数(枚方市開催分)															
			単位		%				単位		人以上				単位		回以上									
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標(見込み)		30未満		20未満		10未満		5未満		100		100		100		100		2		2		2		2
			実績		1.48						0								0							
達成度		193%				0%				0%																
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため医療講演会、患者家族講演会等は実施できなかった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため医療講演会、患者家族講演会等は実施できなかった。																
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が日常生活上及び療養上の不安解消や疾病の理解を深めることができる。				専門相談の実施。理学療法士、言語聴覚士等の専門職が訪問や面接を行い、在宅療養に必要な医学的指導等を行う。																
指標設定④	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
			難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				専門相談延べ利用者数(難病患者、家族、関係機関含む)				専門相談実施回数(カンファレンス含む)															
			単位		%				単位		人				単位		回									
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		
		目標(見込み)		30未満		20未満		10未満		5未満		60		60		60		60		25		25		25		25
			実績		1.48						45								25							
達成度		193%				75%				100%																
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため専門相談がキャンセルになることもあり件数は伸びなかった。				国府の基本方針に基づき就労相談を新たに実施した。																

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者や家族が療養生活全般に関する不安を解消し、療養生活を継続できる。				保健師による、療養生活支援の実施。				
指標設定⑤			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明		難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				保健師による訪問又は面接等保健指導数				保健師による更新申請・新規申請における面接数			
					単位	%			単位	人以上			単位	人
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	343	350	370	390	908	908	908	908
		実績	1.48				147				642			
	達成度		193%				43%				71%			
	分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				保健師による訪問については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響で件数は少なかった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため更新申請が中止となり、新規申請者数及び電話連絡による状況把握数で計上している。			
ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		難病患者が病気の療養を続けながらも、地域で安心して生活を送ることができる。				難病患者の支援体制が向上する。				難病患者の支援体制の向上を目指し関係機関とのネットワークの充実や研修等を行う。				
指標設定⑥			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明		難病患者更新受付時アンケートにて「療養生活について相談できる機関がないと答えた割合」				連携団体数				関係機関連携数(ネットワーク会議、関係機関研修等開催数)			
					単位	%			単位	機関以上			単位	回以上
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	30未満	20未満	10未満	5未満	12	12	12	12	6	6	6	6
		実績	1.48				12				3			
	達成度		193%				100%				50%			
	分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため難病更新申請が中止となり、アンケートの実施ができなかった。このため、令和元年7月から令和2年3月に新規申請を行った患者と、保健師がフォローしている神経筋難病患者235名に電話し、つながった135名より聞き取り、把握した。				連携している団体については、変わらず。				新型コロナウイルス感染症のため、研修会や会議の開催が困難な状況であった。難病ネットワーク会議については、令和元年度に延期となった会議を開催、令和2年度の同会議は書面開催した。			

3. 人員体制

	R2
正職員(再任用)	3.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.29
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。

※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。

※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	52,954	43,933	24,324		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,758	3,361	781		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	56,712	47,294	25,105		
	物件費計		3,059	1,923	966	2,376	41%
歳出計		59,771	49,217	26,071			
歳入	国庫支出金		1,176	1,210	1,006	1,014	
	府支出金		2,739	2,787	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		3,915	3,997	1,006	1,014	
一般財源		55,856	45,220	▲ 40	1,362		

5. 総括的分析

総括的分析

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、指定難病受給者を対象にした更新申請が全国的に中止になるなど、予定した活動・事業が実施できなかった。更新申請時のアンケートによる療養状況の把握や訪問・面接指導、ネットワーク会議の開催等、目標を達成できていない項目も多くあった。一方で、電話で療養状況を把握・支援したり、関係機関へのアンケート調査を行い結果を共有するなど、実施方法を工夫して取り組みを進めることができた部分もあり、次年度へつなげていきたい。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度の難病更新申請は、郵送での申請で実施予定であり、療養状況・ニーズの把握や支援を進めていく。難病ネットワーク部会の開催や連携した取り組みについても、実施内容・方法を工夫しながら進めていきたい。

事務事業実績測定調査																			
事務事業名称		感染症対策事業																	
測定年度		2020(R2)年度				部	健康福祉部			課	保健所保健予防課								
市長公約との関係		所信表明			市政運営方針		R2			R3			R4						
総合計画体系		基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち														
		施策目標			7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち														
		実行計画名			7-1.感染症対策の推進														
1. 事務事業の概要																			
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業					
事業期間		2014(H26)年度				年度		～						年度まで					
根拠法令等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、児童福祉法																	
関係補助金名称		結核対策費補助金							サンセット		-		~	-					
関係附属機関名称		枚方市感染症診査協議会 枚方市感染症発生動向調査委員会																	
事業対象		メインターゲット		指定感染症に感染したまたは疑いのある人、感染症の集団発生事例で感染したまたは疑いのある人															
		サブターゲット		指定感染症等の感染症に感染していない人 結核の好発年齢である60才以上の高齢者や障害者が居住する施設、私立高校、私立大学															
		ターゲットが抱える課題		適切で迅速な診断、治療、感染対策、疫学調査等が受けられないことにより、感染症をまん延させるおそれがある。 感染症とその予防策に関する正しい知識や情報の不足から、感染症にかかり健康を損なうおそれがある。 結核の定期健康診断が実施されないことにより、結核患者の発見が遅れ、結核がまん延するおそれがある。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		枚方市内にいる人が指定感染症等に感染しても適切で迅速な診断、治療、感染対策、疫学調査等を受けることができ、感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。																	
事業概要		①感染症発生動向調査事業：指定感染症(全数把握、定点把握)について、医療機関から保健所への報告を受け、オンラインシステムを用いて国への報告を行うとともに、枚方市感染症発生動向調査委員会を開催し、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の迅速な提供・公開により感染症に対する有効かつ的確な対策を図る。 ②結核検診事業：国の結核登録者情報システムに登録されている患者に対する管理検診及び結核患者と接触のあった接触者で健康診断が必要と総合的に評価された者に対する接触者健康診断を行う。 ③結核患者治療成績評価推進事業：結核患者の全事例の治療成績評価を通じて、外部評価検討者とともに現行対策の課題を明確にし、対応策を検討する。 ④HIV等検査事業：HIV等の性感染症検査を実施し、早期発見、発症・重症化予防及び感染拡大の防止を図るとともに、行動変容を促す。 ⑤感染症予防啓発事業：感染症についての正しい情報と知識を普及し、適切な予防行動の確立を図り、感染症患者に対する偏見差別を失くす。 ⑥感染症医療費公費負担制度：法に基づく対象疾患について、医療費の全額または一部を公費で負担する。枚方市感染症診査協議会を開催し、医療費助成の承認を行う。 ⑦結核対策費補助金:法に基づく結核の定期健康診断を行う学校または施設(国、都道府県又は市町村が設置する学校又は施設を除く)の設置者に対し、健康診断費用の一部を補助する。																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)									
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				結果をオンラインシステムを用いて国へ報告する。				法で類型化された疾患について、医療機関から保健所への報告(全数把握、定点把握)を受ける。									
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
			結核の人口10万人対罹患率				法で定められた期間内に届出されなかった発生届(全数把握)の件数				管内医療機関への指定感染症の届出に関する情報提供・周知回数								
			単位		%				単位		件				単位		回		
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
		目標 (見込み)		11.50		11		10.50		10		0		0		0		0	
		実績		8.80						0								2	
達成度		123%				200%				200%									
分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				発生届は期間内に適切に届出された。				発生届に関する周知機会を想定より多くもつことができた。									

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が検診を受ける。				結核検診を実施する。						
指標設定②	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			結核の人口10万人対罹患率				結核管理検診の受診率				所内結核検診の開催回数					
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
			R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値		目標 (見込み)		11.50	11	10.50	10	100	100	100	100	24	24	24	24
	実績		8.80				89.70				24					
	達成度		123%				90%				100%					
	分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				新型コロナウイルス感染症の流行により、受診控えの影響で受診率が低下したものと思われる。				新型コロナウイルス感染症の影響で実施が危ぶまれたが、感染対策を行い予定通り実施できた。					
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				結核患者の全事例の治療成績評価を通じて、外部評価検討者とともに現行対策の課題を明確にし、対応策を検討する。				結核患者治療成績評価検討会を開催する。						
指標設定③	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			結核の人口10万人対罹患率				結核患者(全患者)の治療失敗・脱落率 (目標値:5%以下(国・府基準))				結核患者治療成績評価検討会の開催回数					
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
			R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値		目標 (見込み)		11.50	11	10.50	10	5	5	5	5	4	4	4	4
	実績		8.80				0				4					
	達成度		123%				200%				100%					
	分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けることなく、結核患者の治療失敗・脱落はなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響で実施が危ぶまれたが、感染対策を行い予定通り実施できた。					
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が検査を受ける。				HIV等検査を実施する。						
指標設定④	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
			結核の人口10万人対罹患率				HIV等検査受検者数				HIV等検査の実施回数 (年末年始祝日除く毎週火曜日実施)					
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
			R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値		目標 (見込み)		11.50	11	10.50	10	470	480	490	500	48	51	49	52
	実績		8.80				300				47					
	達成度		123%				64%				98%					
	分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				新型コロナウイルス感染症の影響により受検者数は減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響で実施が危ぶまれたが、感染対策を行い概ね予定通り実施できた。					

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				市民が啓発イベント等に参加し、正しい情報や知識を身に着ける。				感染症についての正しい情報と知識を普及する。				
指標設定⑤			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明		結核の人口10万人対罹患率				予防啓発事業参加者数				予防啓発事業実施回数 (健康教育・啓発キャンペーン等)			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	11.50	11	10.50	10	2,650	2,700	2,750	2,800	47	48	49	50
	達成度		123%				0%				28%			
分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				新型コロナウイルス感染症の影響により対面での啓発事業やキャンペーンが実施できず減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響により対面での啓発事業やキャンペーンが実施できず減少した。				
ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				医療費の助成を行う。				法に基づく対象疾患について医療費助成の申請を受理する。				
指標設定⑥			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明		結核の人口10万人対罹患率				結核医療費公費申請件数のうち、枚方市感染症診査協議会で診査された件数の割合				結核医療費公費負担申請件数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	11.50	11	10.50	10	100	100	100	100	100	100	100	100
	達成度		123%				100%				113%			
分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				申請件数の全数が適切に診査協議会で診査された。				目標よりもやや件数が増加した。				
ロジックモデル⑦		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		感染症のまん延を予防するとともに、感染症とその予防策に関する正しい知識や情報を持ち、感染症を予防でき健康に過ごすことができる。				結核定期健康診断費用の一部を補助する。				法に基づく結核の定期健康診断について補助金交付申請を受理する。				
指標設定⑦			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明		結核の人口10万人対罹患率				結核対策補助金交付件数				結核対策費補助金交付申請件数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	11.50	11	10.50	10	20	20	20	20	20	20	20	20
	達成度		123%				95%				95%			
分析		新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響からか患者数が減少し罹患率は低下した。				交付件数は概ね達成された				交付申請件数は概ね達成された				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	9.31
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	44,446	50,347	74,247		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,245	3,003	6,752		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	1,710		
		人件費計	46,691	53,350	82,709		
	物件費計		26,933	44,051	332,733	284,533	117%
歳出計		73,624	97,401	415,442			
歳入	国庫支出金		24,483	21,368	157,641	203,241	
	府支出金		0	0	3,104	3,578	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		24,483	21,368	160,745	206,819	
一般財源			49,141	76,033	171,988	77,714	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の流行により、市民の感染対策や行動自粛の効果から、結核をはじめとする他の感染症の発生は減少したと推測される。しかし、発見時に悪化している事例も多くあり、健診や受診控えによる発見の遅れが課題となっている。 新型コロナウイルス感染症の対応と対策で業務量が急増し、予定していた感染症対策事業(インプット活動)が中止、または縮小する結果となった。 新型コロナウイルス感染症は今後も流行が予測されるため、体制を見直し効率化を図るとともに、流行下にあってもその他の感染症業務が滞ることのないよう体制の整備が必要。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする保健所の感染症対策の機能強化が求められている。感染症対策を担う保健師の人材育成に努め、体制の強化と整備を図っていく。東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、強化サーベイランスの実施も予測されることから、新型コロナウイルス感染症の流行状況、国の動向等を注視し、大阪府・府内政令中核市と連携し広域的な感染症対策に取り組むとともに、その他の感染症業務についても滞ることのないよう対策を進めていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		特定不妊治療費助成事業																											
測定年度		2020 (R2) 年度					部		健康福祉部			課		保健所保健予防課															
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2				R3				R4													
総合計画体系		基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																								
		施策目標			14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち																								
		実行計画名			14-1.母子の健康づくりの推進																								
1. 事務事業の概要																													
種類		市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業															
事業期間		2014(H26) 年度					年度		～		2021 (R3) 年度					年度まで													
根拠法令等		(母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱(厚生労働省) 第2の4 不妊に悩む方への特定治療支援事業枚方市特定不妊治療費用補助金交付要綱 (府) 不妊に悩む方への特定治療支援事業(素案))																											
関係補助金名称												サンセット				～													
関係附属機関名称																													
事業対象		メインターゲット		特定不妊治療(体外受精・顕微授精)以外の治療法によっては妊娠の見込みがないかまたは極めて少ないと医師に診断され、当該治療を受けている夫婦(法律上の夫婦に加え事実上婚姻関係にある夫婦も対象とする。)																									
		サブターゲット																											
		ターゲットが抱える課題		健康保険適用外の高額な治療費を負担している。																									
		ターゲットが抱える課題																											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		費用の不安なく、安心して特定不妊治療を受けることができる。																											
事業概要		不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精(「特定不妊治療」という。)は、1回の治療費が高額であり、その経済的負担は重い。妊娠・出産を望む市民に対し、特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できる環境のひとつとする。 また、国では 令和4年4月からの不妊治療の保険適用に向けて検討すめるとともに、保険適用までの 間は、現行の助成措置を大幅に 拡充することとしており、可能な限り早期にその拡充を図るため、令和3年1月からの拡充分の予算を第三次補正予算案に計上している。これを受け、本市においても、制度の拡充を実施するもの。																											
2. ロジックモデル及び指標設定																													
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)																	
		費用の不安なく、安心して特定不妊治療を受けることができる。					特定不妊治療費助成を行う。					特定不妊治療費助成申請を受理する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)																	
		指標説明		1人あたりの受診件数(平均)			1件あたりの給付額				給付件数																		
				単位		件	単位		円		単位		件																
		指標種類		増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5			
				目標 (見込み)		1.40		1.40		1.40		1.40		180,000		180,000		180,000		180,000		482		482		482		482	
				実績		1.30								182,082								435							
達成度		93%					101%					90%																	
分析		想定どおり					想定どおり					令和3年1月からの制度拡充により、申請期限を延長したために申請件数が減ったと考えられる。																	

3. 人員体制

	(人)
	R2
正職員(再任用)	0.88
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.07
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。

※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。

※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,746	6,494	7,018		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	264	200	124		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,010	6,694	7,142		
	物件費計		97,740	97,510	89,448	121,951	73%
歳出計		106,750	104,204	96,590			
歳入	国庫支出金		57,192	49,654	43,596	43,715	
	府支出金		0	0	3,126	12,437	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		57,192	49,654	46,722	56,152	
一般財源		49,558	54,550	42,726	65,799		

5. 総括的分析

総括的分析	国の制度拡充に伴い、本市においても、令和3年1月1日以降に終了した治療を対象に、所得制限の撤廃、助成上限額の増額等の拡充を行った。申請手続きに係る期間を考慮し、申請期限を令和3年5月31日まで延長したために件数が減少したと考えられる。令和3年度は大幅に件数が増加する見込みである。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、広報やホームページ、SNS等により、特定不妊治療費助成制度を必要な方が給付を受けることができるよう、事業内容の周知に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	不育症治療費助成事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	保健所保健予防課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち											
	実行計画名		14-1.母子の健康づくりの推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事業			区分			一般事務事業	
事業期間	2014 (H26) 年度				年度	～							年度まで	
根拠法令等	枚方市不育症治療費用補助金交付要綱													
関係補助金名称								サンセット				～		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		不育症と診断され、不育症治療を受けている市民。											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		健康保険適用外の高額な治療費を負担している。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	費用の不安なく、安心して不育症治療を受けることができる。													
事業概要	妊娠はするが、流産、死産などを2回以上繰り返す等、結果的に子どもを持ってない「不育症」の夫婦に対し、その検査及び治療費に要した費用のうち健康保険適用外の費用に対して、1年度につき30万円まで助成を行い、安心して妊娠・出産できる環境のひとつとする。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	費用の不安なく、安心して不育症治療を受けることができる。				不育症治療費の助成を行う。				不育症治療費助成申請を受理する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		1人あたりの治療件数 (平均)		給付金額				給付件数					
			単位	件	単位	円	単位	件						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	1.10	1.10	1.10	1.10	2,040,000	2,040,000	2,040,000	2,040,000	15	15	15	15
		実績	1.10				2,246,000				19			
達成度		100%				110%				127%				
分析		想定どおり				申請件数の増加に伴い給付金額も多くなった。				申請件数の増加に伴い給付件数も増加した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,783	1,363	2,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,783	1,363	2,153		
	物件費計		0	1,154	2,246	4,240	53%
	歳出計		2,783	2,517	4,399		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,783	2,517	2,246	4,240	

5. 総括的分析

総括的分析	事業が開始されて6年が経過したことから、「利用の手引き」や申請書等書類一式について、より市民にわかりやすいよう、見直しを行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、広報やホームページ、SNS等により、不育症治療費助成制度を必要な方が給付を受けることができるよう、事業内容の周知に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	小児慢性特定疾病医療費支給認定に関する事業									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	保健所保健予防課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	市民サービス		特性		非選択的事業			区分		非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	児童福祉法等									
関係補助金名称							サンセット		～	
関係附属機関名称	小児慢性特定疾病審査会									
事業対象	メインターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等の保護者								
	サブターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等								
	ターゲットが抱える課題	小児慢性特定疾病にかかっていることにより、療養のため多額の費用を要する。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	療養費の負担が軽減され、必要な医療を受けることができる。									
事業概要	・小児慢性疾病の国が定めた基準に基づき、小児慢性特定疾病の治療研究事業を行うことで、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家族の医療費の負担軽減にも資することを目的として、医療費の援助を行う。 ・小児慢性特定疾病医療費支給認定にあたり、疾病の状況が国が定める認定基準に該当しているか審査を行うため、枚方市小児慢性特定疾病審査会を開催する。 ・児童福祉法の規定に基づき、小児慢性特定疾病指定医の指定および指定小児慢性特定疾病医療機関の指定を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						承認者に医療受給者証を発行する。				小児慢性特定疾病医療費支給認定申請書を受理する。			
指標設定	指標説明					申請書受理数に対する医療受給者証を発行した割合。				小児慢性特定疾病医療費支給認定申請書の受理件数			
		単位				単位 %				単位 件			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				98	98	98	98	500	500	500	500
		実績				98				176			
	達成度					100%				35%			
	分析					申請受理数に対し、国の認定基準を満たさず不承認となったものを除き、医療受給者証を交付出来た。				新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、医療受給者証の有効期間が1年延長となり、更新申請手続きが不要となり、新規申請のみとなったため、申請受理件数が大幅に減少した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.19
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.91
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,541	11,384	9,490		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,239	2,869	2,784		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	496		
		人件費計	12,780	14,253	12,770		
	物件費計		2,901	1,429	1,373	1,592	86%
	歳出計		15,681	15,682	14,143		
歳入	国庫支出金		574	574	566	574	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		574	574	566	574	
一般財源			15,107	15,108	807	1,018	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の受理件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により受給者証の有効期間を1年自動延長したため、更新申請受理件数が減少した。令和3年度は、更新申請手続きが必要なため件数は増加する見込みであることから、申請受付から受給者証交付までの手続きを円滑に進めるよう努める。また、医療機関での受診時等で混乱が生じないよう、自動延長後の有効期間の受給者証を順次交付した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	申請受付から受給者証交付までの手続きを標準処理期間中に完了するよう努め、適正な医療費公費負担の実施のため、枚方市小児慢性特定疾病審査会の運営を実施する。重症児等については、地域保健課母子保健担当と連携を図り支援に繋げる。 また、小児慢性特定疾病指定医及び指定小児慢性特定疾病医療機関の指定についても、引き続き適正に手続きを行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		保健予防課運営事務																	
測定年度		2020 (R2) 年度					部	健康福祉部				課	保健所保健予防課						
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標			9.施策体系外														
		施策目標			99.施策体系外														
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		内部管理			特性			庶務的事務				区分			庶務的内部管理事務				
事業期間		不明						年度	～								年度まで		
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称												サンセット					～		
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット		保健所保健予防課課員															
		サブターゲット																	
		ターゲットが抱える課題		事務を円滑に行う必要がある。															
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		事務が円滑に行えている。																	
事業概要		課の運営業務																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
指標設定		指標説明		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)					
				単位					単位					単位					
		指標種類																	
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
				目標 (見込み)															
				実績															
		達成度																	
分析																			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.43
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,541	7,696	11,404		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,541	7,696	11,404		
	物件費計		453	896	516	1,107	47%
	歳出計		9,994	8,592	11,920		
歳入	国庫支出金		0	185	0	0	
	府支出金		0	193	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	378	0	0	
一般財源			9,994	8,214	516	1,107	

5. 総括的分析

総括的分析	文書の収受・発送に関する事務、物品の契約・管理業務、庁内外の照会回答事務、職員の給与・服務等に関する事務、公用車及び公用自転車の維持管理業務等について滞りなく執行した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正かつ円滑に事務を遂行することで、課全体の各業務が滞りなく執行できるよう努める。